

参加無料
事前申し込み不要

没後20年 金達寿

小説家として・古代史家として

■金達寿没後20年である2017年という区切りの年に、彼の知的活動の足跡を振り返るとともに、彼が日本社会と在日コリアン社会の両方に残した知的遺産を新たな視点でとらえ、共有して引き継いでいくための機会をつくりたい。そしてこの機会を通じて、悪化の一途を辿っている日本と日韓・日朝関係、「嫌韓」やヘイト・スピーチなどの形で顕在化している日本社会が忘れ去ってしまった、両国・両民族の連帯と共生の可能性を、問い直すことを目指します。

【発言者】

- 廣瀬陽一 ■ 金達寿の全体像
- 佐藤信行 ■ 金達寿と『季刊三千里』
- 文 京洙 ■ 金達寿と在日組織・文化人
- 高柳俊男 ■ 金達寿と私と法政大学
- 呉 文子 ■ 金達寿と李進熙

【問合せ先】

TEL 03-3264-9345
e-mail : jkokusai@hosei.ac.jp

法政大学国際文化学部・図書出版クレイン共催

企画協力：廣瀬陽一

【日時】 2017年9月16日(土)14時～

【場所】 法政大学市ヶ谷キャンパス
外濠校舎 S307



↑ 5の校舎の3F

←飯田橋駅 市ヶ谷駅→